

拠出金名：みなみまぐろ保存委員会拠出金

国際機関等名	みなみまぐろ保存委員会 (英文名称・略称) Commission for the Conservation of Southern Bluefin Tuna (CCSBT)					
種 別	国連本体		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千豪ドル)	レ ー ト		
平成16年度	17,600		232	1A\$ = 76 円	(2004年) 43.1	100
平成15年度	15,516		232	1A\$ = 67円	(2003年) 46.2	100
平成14年度						
事業(プロジェクト)への拠出						
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)(注2)		
	国 名	(千豪ドル)	率(%)	当該年度の収入 692,500豪ドル		
1位	日本	232	43.1	当該年度の支出 541,875豪ドル		
2位	オーストラリア	155	28.8	次年度への繰越 150,625豪ドル		
3位	韓国	56	10.4	会計検査機関名		
4位	台湾	56	10.4	Australian National Audit Office		
5位	ニュージーランド	39	7.2	(現在の構成員の出身国: オーストラリア)		
上記の率及び順位は2004年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
CCSBTはミナミマグロの保存管理及び最適利用を目的として設置された国際機関である。最近、当該水域においては資源の悪化が懸念されており、効果的な管理措置の導入が不可欠となっていることからCCSBTの果たすべき役割は重要となりつつあると評価。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
CCSBTでは拘束力を有する保存管理措置を導入しており、我が国としても、科学的根拠に基づく措置を支持する立場にある。このため、我が国を含む加盟国等が等が拠出金を提供し、科学調査を実施することにより、機能強化が図られている。						
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 1人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に しめる率	5人 20%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
事務局次長		成澤 行人				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。

(注2) 我が国からの拠出金のほか、他国からの拠出金も含まれている。